## 演奏部門

\*第11回日本管打・吹奏楽アカデミー賞演奏部門は該当なしと決定いたしました。

## 第11回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

# 作·編曲部門

## 鈴木 英史 殿

#### | 推薦理由

吹奏楽の作・編曲に精力的に取り組み、その内容は、現場の実状によく合せたものであり、プロからアマチュア・バンドまで支持され数多く演奏され人気を博している。

#### □推薦内容

吹奏楽のための「エントラーダ」、吹奏楽のための「プレリュード」、「虹色の海」「スパイラルⅡ」クラリネットと吹奏楽のための「風の流れる時」



#### □プロフィール

1965年生まれ。東京芸術大学を経て、91年同大学院音楽研究科作曲専攻終了。作曲を間宮芳生、遠藤雅夫に師事。在学中、安宅賞受賞。現場の実状を把握した作・編曲作品はコンクールやコンサートでのレパートリーとして数多く取り上げられ、吹奏楽のレパートリーの開拓にも貢献している。また、石川・山形国体では式典音楽を担当する。

### 第11回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

## 研究部門

## 川島 顯治 殿

#### □推薦理由

スーザ自叙伝の改訂本の翻訳にあたり、スーザ の研究が顕著で、その作品リスト等を完全なもの としました。訳著に至るまでの功績が多大でござ います。

#### □推薦内容

ジョン・フィリップ・スーザ自叙伝「マーチング・アロング」〜星条旗よ永遠なれ〜日本語版の 出版をとおしたスーザの研究とその翻訳



#### □プロフィール

1943年生まれ。早稲田大学卒業。日本テキサス・インスツルメンツ㈱半導体マーケティングエンジニア退職。現在、㈱ビジネス・パートナーズ・ジャパン取締役。六門会合奏団指揮者。 IMMS CD評論スタッフ。日本スーザ協会会員。

# 制作部門

#### ビクターエンタテインメント株式会社 SC制作部 殿

#### 推薦理由

吹奏楽のジャンルにおいてCD制作を近年、積 極的に取り組んでおり、特に2000年度は全日本吹 奏楽コンクール全国大会の演奏を高音質ライブ収 録するとともに、「BRN」を企画・制作しレパー トリーの提供に貢献いたしております。

#### □推薦内容

CD「全日本吹奏楽2000」全13タイトルをはじ め、CD「バント・レパートリー・ネットワーク」 「ビクターエンタテインメント(株)」に社名変更 シリーズの企画・制作に対して。



### □プロフィール

昭和2年9月 日本ビクター蓄音機(株)設立。 昭和20年12月 日本ビクター株に社名変更。 昭和47年4月 ビクター音楽産業(株)設立

(日本ビクター㈱の音楽部門のうち、製造部門を 除く、制作、営業、宣伝当の全部門を分離独立。 同社全額出資)

昭和59年2月 日本エイ・ブイ・シー(株)設立。 平成5年4月 日本エイ・ブイ・シー(株)を合併。

### 第11回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

# 啓発部門

### 財団法人アクトシティ 浜松運営財団 殿

### 一推薦理由

海外の吹奏楽団や演奏団体の招聘や、フェステ イバル、ソロコンテスト、全日本高等学校選抜吹 奏楽大会等を企画・運営し、我が国の吹奏楽の発 展に大きく貢献いたしました。

#### □推薦内容

パン・パシフィックバンドフェスティバル、全 日本高等学校選抜吹奏楽大会、その他海外の有名 バンドの招聘等の企画・運営。



#### □プロフィール

浜松市は、アクトシティで展開する音楽、芸術 等の文化イベントの企画開催、コンベンションの 誘致、古楽器等楽器資料、産業情報等の公開など 広範な事業を推進する運営組織として、平成5年 7月財団法人アクトシティ浜松運営財団を設立。

#### <主な事業>

- ・アクトシティ浜松の運営管理の受託
- ・コンサート、オペラ、伝統芸能等の自主事業。
- ・コンベンションの誘致活動、広報PR
- ・音楽セミナーの実施、古楽器等の展示。他

# 特別部門

## 柏市立柏高等学校吹奏楽部 殿

#### 推薦理由

我が国の高等学校の吹奏楽界を常にリードする と同時に、パワフルなパフォーマンスとその企画 力は人々に大きな感銘を与えると同時に、海外に おいても大きな成果を果たされました。

#### □推薦内容

アメリカ・カルフォルニア州で開催されたローズパレードに日本代表として出場。更に、数々の大会に参加しすべての部門でグランドチャンピオン賞を受賞し大きな反響を呼びました。



### □プロフィール

昭和53年4月開校。同時に吹奏楽部も活動を始め、本年度で23年目を迎える。これまで、千葉県代表として関東吹奏楽コンクールに連続20回出場。関東代表として全日本吹奏楽コンクールに14回出場し、最高賞の金賞を6回受賞。全国学校合奏コンクールで内閣総理大臣賞を受賞。平成7年には、日本代表として第7回世界吹奏楽大会にも出場し好評を博する。また、全日本マーチングフェスティバルでも優秀な成績をおさめている。

#### <日本管打・吹奏楽アカデミー賞受賞者の記録>

#### <第1回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 :フレデリック・フェネル博士と 東京佼成ウインドオーケスラ □作・編曲部門:(故)大栗 裕 □研究部門 :根本 俊男 □制作部門 : (株)東亜音楽社 □啓蒙部門 : 日本バンドクリニック委員会 <第2回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 :北爪 利世 □作・編曲部門:保科 洋 □研究部門 : 赤松 文治 一制作部門 : ニューサウンズインブラス :大森 喜代三郎 | 啓蒙部門 <第3回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 :東京吹奏楽団 □作・編曲部門:兼田 敏 □研究部門 :福井 制作部門 : 株佼成出版社 □啓蒙部門 :鈴木 竹男 <第4回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 :大阪市音楽団 □作・編曲部門:伊藤 康英 □制作部門 :東芝EMI株、株村松フルート製作所 <第5回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 :トルヴェールクワルテット □作・編曲部門:櫛田 てつ之扶 □研究部門 : 小澤 俊朗 □啓蒙部門 :バンドピープル □特別部門 : ㈱石森管楽器 <第6回日本吹奏楽アカデミー賞> □演奏部門 : 上野の森ブラス

アカデミー賞受賞者の記録>	
□作・編曲部門	: 小長谷 宗一
□制作部門	
	:NHK「ブラスの響き」
	:関西吹奏楽連盟
	救世軍スタッフバンド
	(財)多摩市文化振興財団
<第7回日本吹奏楽アカデミー賞>	
□演奏部門	:安部 圭子
□作・編曲部門	: 真島 俊夫
□制作部門	: ヤマハ・サイレントブラス
□啓蒙部門	: バンドジャーナル
□特別部門	: 齊藤 三郎
<第8回日本吹	奏楽アカデミー賞>
□演奏部門	:須川 展也
□作・編曲部門	: 森田 一浩
□制作部門	:シネカノン配給「ブラス」
	: 東京ブラスソサエティ
□特別部門	:(故) 阪口 新、(故) 中山 冨士雄
	奏楽アカデミー賞>
□演奏部門	
	:(故)平吉 毅州
□研究部門	:保科 洋
□制作部門	:(株)ミュージックエイト
	:第10回全国女子バンドフェスティヴァル
<第10回日本管打・吹奏楽アカデミー賞>	
□演奏部門	
□作・編曲部門	
□研究部門	
	:CD「ブラスの響き」
□啓発部門	
特別部門	:TBSドラマ「LIVE」制作スタッフ